

製品名: Rho ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86621**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:22 kDa; Observed MW:22 kDa

抗原情報

遺伝子名	Rho
別名	H9; ARH9; ARHC; RHOH9
遺伝子 ID	389
SwissProt ID	P08134
免疫原	ヒト Rho の合成ペプチド

背景

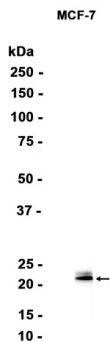
この遺伝子は、不活性な GDP 結合状態と活性な GTP 結合状態の間を循環し、シグナル伝達カスケードにおける分子スイッチとして機

能する低分子 GTPase である Rho ファミリーのメンバーをコードしています。Rho タンパク質はアクチン細胞骨格の再編成を促進し、細胞の形状、接着、および運動性を制御します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は C 末端がプレニル化されており、細胞質および細胞膜に局在します。細胞運動において重要な役割を担っていると考えられています。この遺伝子の過剰発現は、腫瘍細胞の増殖および転移と関連しています。同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



Rho ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した MCF-7 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。